

船舶事故調査報告書

平成30年3月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成29年9月29日 14時00分ごろ
発生場所	福岡県福津市勝浦浜 神湊港北防波堤灯台から真方位197° 1,000m付近 (概位 北緯33° 50.8′ 東経130° 28.9′)
事故の概要	ヨットリベルテIIは、漂泊中、海浜に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成29年10月27日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	ヨット リベルテII、5トン未満（長さ8.52m） 290-26267福岡、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	フィンキール下端に折損
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北西、風力 2、視界 良好 海象：波高 約1m、潮汐 上げ潮の中央期
事故の経過	<p>本船は、船長ほか2人が乗り組み、勝浦浜沖で小学生を対象としたヨット試乗体験学習を行っていた。</p> <p>船長は、体験学習参加者をゴムボートと本船との間で乗降させていたところ、本船の乾舷が高く、風波の影響もあって同参加者が本船の乗降に難儀していたので、同参加者が落水したときに沖へ流されないよう、本船を水深が約3mの陸岸に近い場所に寄せ、機関を中立運転にして漂泊していた。</p> <p>本船は、体験学習参加者が乗降中、波を受けて更に陸岸側に流されて勝浦浜に乗り揚げた。</p> <p>船長は、体験学習参加者をゴムボートに降ろして陸岸に避難させた。</p> <p>本船は、付近の福岡県宗像市神湊漁港から救助に来た漁船によって引き出された後、同漁港に入港した。</p> <p>本船の喫水は、フィンキールの下端まで約1.75mであった。</p> <p>船長及び体験学習参加者は、全員が救命胴衣を着用していた。</p> <p>本船は、ふだん、錨泊して体験学習参加者をゴムボートと本船との間で乗降させていたが、本事故当時、同参加者が多く、錨泊する時間がなかった。</p> <p>本船は、陸岸側に流され始めたとき、体験学習参加者がゴムボートと本船との間で乗降していたので、機関を使用して沖側に移動することができなかった。</p>

<p><b>分析</b></p>	<p>本船は、漂流中、陸岸近くで体験学習参加者をゴムボートと本船との間で乗降させていたところ、波を受けたことから、更に陸岸側に流されて勝浦浜に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>本船は、体験学習参加者がふだんよりも多かったことから、錨泊せずに同参加者をゴムボートと本船との間で乗降させていたものと考えられる。</p>
<p><b>原因</b></p>	<p>本事故は、本船が、漂流中、陸岸近くで体験学習参加者をゴムボートと本船との間で乗降させていたところ、波を受けたため、更に陸岸側に流されて勝浦浜に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<p><b>参考</b></p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体験学習等の乗船者が、船舶間での乗降が困難な場合は、乗降を中止すること。</li> <li>・ 体験学習等において、陸岸近くで乗船者を船舶間で乗降させる場合は、陸岸側に流されないよう、錨泊して行うことが望ましい。</li> <li>・ 体験学習等は、安全を十分に確保できる参加人数で実施することが望ましい。</li> </ul>